

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

ひらかたちゅうぶちく
枚方中部地区

平成27年3月

大阪府枚方市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み(推定)・確定の別	目標達成度	後年度の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	イベント等への参加者数	人/年	150	250	250 (見込み値)	確定 見込み ●	○	あり なし	472	H25年3月	○	-	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	史跡公園の整備によって郷土の歴史に対する市民の関心が高まり、史跡公園を巡る散策やシンポジウムなどイベントへの参加者数が増加した。
指標2	幹線道路の渋滞長	m	120	30	30 (推定値)	確定 推定 ●	×	あり ○ なし	20	H27年2月	○	-	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	大阪府施工の府道杉田口禁野線交差点改良工事が完了したことにより、渚中宮線の右折車輦に起因する渋滞が緩和された。
指標3	歩行者の安全率	%	70	100	100 (推定値)	確定 推定 ●	○	あり なし	100	H25年3月	○	-	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時点では、施工中であった区間の歩道整備が完了したことにより、歩道の整備率が100%となり、歩行者の安全率が100%が達成された。
指標4	市民活動拠点施設の利用件数	件/年	11,772	17,512	17512 (推定値)	確定 推定 ●	○	あり なし	14,392	H 26年 4月	△	サプリ村野のリニューアル後の利用件数が低調であり、フォローアップ時の確定値が下回った。広報などPRの不足に起因したものと考えられる。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	サプリ村野のリニューアルオープンにより市民活動拠点施設の利用件数は増加したものの、広報などPR不足により当初利用率が見込みより低く、利用件数の目標を達成できなかったが、増加傾向にある。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	後年度の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<p>・成果を持続させるために 行う方策</p>	<p>・渚中宮線においては、歩行者への歩道部分の通行を徹底する。 (歩行者と車両の通行帯を分離することにより、円滑な車両の通行を確保する。)</p>	<p>渚中宮線の歩道整備を行ったことで、歩行者と車両の通行帯が分離され区間の歩道の整備率が100%となった。</p>	<p>歩道整備により、円滑な車両の通行と歩行者の安全が確保された。</p>	
	<p>・市民活動の拠点施設の利用 (市民による様々な文化・まちづくり活動の充実につながるよう、今後も、市民ニーズの把握や広報活動を行うことで、市民活動拠点施設の利用の促進を図る。)</p>	<p>・NPOの中間支援組織による市民活動団体への利用の呼びかけや広報誌による施設のPRを行った。 ・施設見学会を開催した。 ・利用者アンケートを実施した。 ・市政情報番組を制作し、サブリ村野NPOセンターの施設内容や利用団体の活動をPRした。 ・制作した番組のDVDを図書館等で貸出しし、ホームページで配信した。</p>	<p>・サブリ村野NPOセンターの施設開設以降の利用件数は、微増傾向にある。 ・平成26年度の利用件数は、前年度比で約2倍程度に増加した。</p>	<p>・施設の利用件数は徐々に増加してきているものの、依然として目標値を下回っている。 ・今後は、施設利用団体を中心となり、市民向けの講座や講習会を一堂に開催するイベントや、行政主催による高齢者対象運動教室の開催など、サブリ村野をイベント会場として活用するとともに更なる広報PRを充実させるなど、引き続き利用率の向上に向けた取り組みを実施し、市民活動の充実につなげていく。</p>
	<p>・市民の歴史・文化の学習 (史跡公園を郷土史を体感する核と位置づけ、周辺に点在する文化財とを結ぶ散策を実施し、シンポジウムなどの啓発普及に活用し市民の郷土の歴史認識の向上を図り、地元への愛着が深まるよう努める。)</p>	<p>年に数回程度、史跡や歴史をテーマとした歴史講座や、史跡を訪れる歴史ウォークを開催し、史跡への興味や愛着が高まるように努めた。</p>	<p>アンケートなどで、史跡への理解が高まった等の意見を頂き高い満足度を得られ、市民の郷土の歴史認識の向上等が図られた。</p>	<p>今後、より多くの市民に郷土への歴史認識が深まるよう、啓発普及や史跡の再整備事業に努める。</p>
<p>改善策</p> <p>・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策</p>	<p>・渚中宮線における右折レーンの設置 (右折レーンを設置することにより、右折待ちの車による渋滞を緩和しスムーズな交通の流れを確保する。)</p>	<p>府道杉田口禁野線道路改良工事(大阪府事業)の推進を図り、右折レーンの整備が完了した。</p>	<p>府道杉田口禁野線交差点改良及び渚中宮線への右折レーンの整備を行ったことにより、右折待ちを起因とする渋滞の緩和が図れた。</p>	
	<p>・道路ネットワークの強化 (引き続き早期整備に向け事業推進し道路ネットワークの強化を図る。)</p>	<p>府道杉田口禁野線道路改良工事の推進を図った。</p>	<p>府道杉田口禁野線交差点改良及び渚中宮線への右折レーンの整備を行ったことにより、道路ネットワークの強化が図られた。</p>	<p>今後、さらに周辺道路ネットワークの強化を図るため、(都)枚方藤阪線整備事業の推進と(都)御殿山小倉線整備などの整備を進めていく。</p>

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項